

令和5年度各会計予算案の大綱



次に、令和5年度各会計予算案の大綱について、ご説明申し上げます。

令和5年度は、統一地方選挙の年ではありますが、新たな総合計画のスタートの年として、計画に掲げた各施策の方向に時機を逸することなく取り組み、市民生活と地域経済を支えるための効果が最大限発揮されるよう、政策的な予算についても当初予算に組み込んだ予算案としました。

エネルギー価格をはじめとした物価高騰の影響が広がり、本市への影響も大きいところではありますが、特に子育て施策の拡充に重点を置き、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指した予算となるよう編成したものです。

この結果、

一般会計	218億 1,700万円
特別会計	96億 2,286万円
下水道事業会計支出	22億 7,904万円
病院事業会計支出	88億 9,734万円

となり、各会計の歳出総額は426億1,624万円で、令和4年度当初予算と比較して、3.6%の増、金額では14億6,267万円の増となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。

一般会計におきましては、予算総額を前年度当初予算に対し5億9,800万円増としました。中学生（15歳年度末まで）までの子どもの医療費の全額助成を8月から開始するなど、子育て世帯を応援する各種施策を重点的に拡充したほか、住民票などをコンビニエンスストアで取得できる環境整備や、市役所での諸手続きの際に市民の皆様が申請書を記入する必要のない「書かない窓口」の実施に係る予算を計上しました。さらに、地域経済の活性化を図るため、道路新設改良事業や緊急浚渫推進事業、老朽化した公共施設の改修などの実施、ふるさと納税による寄付金額の予算増に伴う関連経費の増により、

予算額 218億1,700万円で、前年度比2.8%の増となっています。

性質別にみますと、

人件費については、退職手当組合普通負担金の減などにより、

予算額 32億4,330万円で、前年度比3.9%の減

物件費は、エネルギー価格の高騰、ふるさと納税経費の増などにより、

予算額 31億1,522万円で、前年度比14.2%の増

扶助費は、障害者自立支援給付の増などにより、

予算額 36億8,691万円で、前年度比1.7%の増

建設事業費は、滝の川公園テニスコート改修工事の完了に伴う減などにより、

予算額 6億5,859万円で、前年度比20.4%の減

公債費は、計画的な借り入れの成果などにより、

予算額 15億6,233万円で、前年度比1.7%の減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費及び国民健康保険事業費納付金の減などにより、

予算額 44億1,814万円で、前年度比1.7%の減

公営住宅事業特別会計におきましては、工事請負費の増などにより、

予算額 6億1,094万円で、前年度比38.5%の増

介護保険特別会計におきましては、

保険事業勘定は、保険給付費の減などにより、

予算額 37億9,958万円で、前年度比2.6%の減

介護サービス事業勘定は、居宅サービス事業費の減などにより、

予算額 7,304万円で、前年度比1.0%の減

介護保険特別会計総体では、

予算額 38億7,262万円で、前年度比2.6%の減

後期高齢者医療特別会計におきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、

予算額 7億2,116万円で、前年度比0.8%の増

下水道事業会計におきましては、工事請負費の減などにより、

支出額 22億7,904万円で、前年度比5.1%の減

病院事業会計におきましては、医療情報システムの更新費用の増などにより、

支出額 88億9,734万円で、前年度比12.5%の増となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

道路新設改良事業費 3億7,650万円

平和公園ほか遊具改築工事 8,230万円

三世代交流センター改修工事 1,962万円

などを含め、総額で 6億5,859万円

公営住宅事業特別会計では、 2億4,245万円

下水道事業会計では、 2億7,226万円

全体で前年度比9.4%減の 11億7,330万円 を計上しました。

引き続き、新たな総合計画の基本目標並びに施策に沿って主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「安心して子どもを育み、学び、笑顔あふれるまち」についてです。

子どもの成長と子育て支援体制の充実については、

0歳から中学生（15歳年度末まで）までの子どもの医療費を全額助成するため、

子ども医療費助成事業等 1億7,392万円

子育て世帯の住宅新築を支援するとともに、地域経済の活性化を促すため、

住宅新築・改修促進事業費 2,884万円

すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできる環境を整備するため、

出産・子育て応援給付金事業費 2,004万円

うまれてくれてありがとう！健やか赤ちゃん支援事業費 1,100万円

急激な物価高騰の影響を受ける学校給食の食材費上昇分を令和5年度は公費負担とし、学校給食費の保護者負担を据え置くため、

学校給食の食材費高騰対策事業費 1,176万円

低所得の妊婦の経済的負担を軽減し産科受診を促すため、

初回産科受診料助成事業費 20万円

出産育児一時金の額を増額するため、

出産育児一時金 850万円

出産後の母子の心身のケアや出産後の産婦に対する産婦健診費用の助成を行い、子育て世帯の負担軽減を図るため、

産後ケア・産婦健康診査事業費 159万円

弱視の早期発見・治療に繋げるため、

3歳児健診屈折検査機器視力検査事業費 154万円

不妊・不育症の治療費用の助成に係る所得制限を撤廃し、さらなる少子化対策を進めるため、

不妊治療支援事業費 200万円

安心して妊娠・出産できる環境を確保するため、

妊婦健康診査支援事業費 1,734万円

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

住宅住み替え支援事業費 801万円 を計上しました。

学校教育の充実については、

ICT学習環境の整備を行い、キャリア教育の推進を図るため、

滝川西高等学校ICT学習環境整備事業費 800万円

国学院大学北海道短期大学部新入学生の新たな環境での生活サポートとして、

国学院大学北海道短期大学部新入学生滝川産米配付事業費 50万円

修学機会の拡大と滝川市内への就職を促進するため、

国学院大学北海道短期大学部連携事業補助金 320万円

国学院大学北海道短期大学部修学応援補助金 735万円

滝川西高等学校進学促進修学奨励金 395万円 を計上しました。

生涯学習・文化芸術・スポーツ環境づくりについては、

市民の文化芸術活動の場として、ホール・会議室・和室など多様な空間を提供するため、

滝川市民交流プラザ運営管理事業費 3,670万円
美術自然史館の特別展を行うため、
特別展事業費 62万円 を計上しました。

次に、「健康で、優しく、安全に暮らせるまち」についてです。

保健・医療環境の充実については、

重度心身障がい者医療費の助成の拡大を図るため、
重度心身障がい者医療費助成拡大事業費 453万円
認知症予防を兼ねた脳ドック費用の一部を助成するため、
脳ドック費用助成事業費 277万円 を計上しました。

地域福祉・自立支援体制の充実については、

滝川市公共施設個別施設計画前期計画に基づく三世代交流センターへの身体障害者福祉センター機能の複合化に伴い必要な施設改修などを行うため、
身体障がい者活動拠点移転事業費 2,279万円
地域おこし協力隊員を活用して生活支援コーディネーターを増員し、生活支援体制の充実を図るため、
生活支援体制整備事業費 275万円 を計上しました。

市民生活の安全確保については、

災害時に必要な備蓄品を確保し、避難所運営を行うため、
備蓄品購入・避難所等経費 320万円 を計上しました。

コミュニティ活動の支援については、

パートナーシップ制度の導入に向けた準備を進めるため、
パートナーシップ制度導入準備事業費 10万円
江部乙地域におけるコミュニティ活動の拠点としての充実を図るため、
農村環境改善センター運営委員会補助金 20万円 を計上しました。

環境への配慮については、

森林の有する多面的機能が発揮できる森づくりを推進するため、
豊かな森づくり補助金 143万円 を計上しました。

次に、「元気で魅力ある産業と、人が集うまち」についてです。

農業の振興については、

地域おこし協力隊員による農業の第三者経営継承を推進し、地域農業の維持・発展を図るため、
新規就農支援対策事業費 1,143万円

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備のため、

道営土地改良事業負担金 1,200万円

道営土地改良事業計画樹立事業負担金 27万円

農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行う地域組織の活動を支援するため、

多面的機能支払交付金 1億3,980万円 を計上しました。

力強い産業の創出については、

地域おこし協力隊員を醸造士として育成し、滝川クラフトビールのさらなる商品開発・販路拡大を目指すため、

滝川クラフトビール普及拡大事業費 480万円

出店者の初期投資を軽減することで、空き店舗などの削減を促進するため、

店舗リノベーション支援事業補助金 170万円 を計上しました。

豊かな資源をいかした外客誘致・交流人口の拡大については、

市民福祉の向上及び交流人口の拡大に向けた中核施設としての機能を維持するため、

滝川ふれ愛の里管理運営事業費 7,999万円

交流・関係人口の拡大や地域経済の活性化を目指すため、

グライダーを活用した交流・関係人口創出事業費 552万円

地域おこし協力隊員を活用してイベントなどの企画・運営の担い手を育成するとともに、交流人口の拡大や地域ブランド力の向上を目指すため、

観光人材育成事業費 479万円

ウィズコロナ、アフターコロナに向けた観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,005万円

多文化共生社会の理解促進活動や外国人在住者の生活支援を行うため、

外国青年招致事業費 1,926万円 を計上しました。

次に、「都市と農村が調和し、便利で、快適なまち」についてです。

コンパクトな都市形成については、

社会情勢の変化を踏まえた都市づくりを推進するため、

都市計画マスタープラン改定事業費 810万円 を計上しました。

地域公共交通の維持については、

市内の路線バスを維持するため、

一般乗合バス負担金 1,211万円 を計上しました。

公共施設・インフラの適正管理については、

市内経済の状況を考慮し、地域経済への波及効果の高い公共事業を実施するため、

普通建設事業費 11億7,330万円

除排雪に必要な大型ロータリーと除雪トラックを購入するため、

除雪車両購入費 1億1,435万円

市管理の道路照明を水銀灯からLED灯へ更新するため、

道路照明LED化事業費 6,260万円

歩行者の安全な通行を確保するため、

西1号通り線及び江部乙町東1057号線防護柵改修事業費 1,700万円

近年相次ぐ異常気象による河川氾濫を未然に防ぐため、

緊急浚渫推進事業費 2,500万円

町内会などが管理を行っている街路灯のLED灯への切り替えを促進するとともに、老朽化した自立柱を撤去するため、

街路灯設置費補助金 943万円 を計上しました。

住環境の整備については、

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

(再掲)住宅住み替え支援事業費 801万円 を計上しました。

次に、「効率的な行財政運営によるまちづくり」についてです。

自治体DXの推進については、

行政サービスのさらなる向上と市役所における業務の効率化を目指し、

自治体DX推進事業費 9,434万円 を計上しました。

滝川市公式ホームページ更新については、

市公式ホームページを、知りたい情報へたどり着きやすく、より情報発信力の高いホームページとするため、

滝川市公式ホームページ更新事業費 356万円 を計上しました。

普通財産建物点検等委託事業については、

老朽化した普通財産建物を安全に管理するため、

普通財産建物点検等委託事業費 800万円 を計上しました。

公共施設修繕事業については、

滝川市公共施設個別施設計画前期計画に基づき、持続可能な公共施設運営を行うため、

公共施設修繕事業費 8,420万円 を計上しました。

第三セクターの経営健全化については、

第三セクターの経営改善を促進するとともに、安定的な経営を支援するため、

滝川振興公社貸付金 6億3,500万円 を計上しました。

財政健全化の推進については、

滝川市立病院経営改善計画に基づき市と市立病院が一体となって取り組みを進めるため、滝川市立病院経営改善計画実施支援事業費 2,077万円 を計上しました。

次に、これらに見合う令和5年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税について、令和4年度の実績見込み及び令和5年度の地方財政対策を勘案し、個人市民税、固定資産税及び都市計画税、市たばこ税などについては対前年度当初予算比増額を、法人市民税については減額を見込みました。

軽自動車税については車両台数の減少が予測されることから減額を見込みました。

収納率については、現年度分98.1%、滞納繰越分8.1%、合わせて88.8%を確保する予算としたところ、市税全体では、

対前年4,815万円増の 43億2,391万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年8,570万円増の 71億5,908万円

ふるさと納税による寄付金については、令和4年度決算見込みを踏まえて、

対前年3億円増の 18億円

その他の歳入としまして、

国庫支出金 31億1,922万円

道支出金 13億1,149万円

市債 5億8,692万円 を計上しました。

基金繰入金については、対前年6,351万円増の2億6,351万円を計上しております。

以上、令和5年度の各会計予算案の大綱について、申し上げました。

厳しい財政運営の中にありますが、予算計上に当たっては、継続事業に一定の配慮を行ったほか、将来にわたり市民の皆様が安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組みに十分配慮したところです。

市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。